

～ 認知症になっても安心して暮らせるまち・のみ ～

のみ認知症 あんしん帳

能美市認知症ガイドブック概要版



～ のみ認知症あんしん帳とは ～

認知症の進行に合わせて、いつでもどこでどのような医療や介護のサービスを利用できるかをお示しするものです。

能美市

認知症とは

脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったため、認知機能（記憶したり、時間や場所が分かったり、物事を考えたりする働き）が低下し、日頃の生活で支障が起こる状態です。

主な認知症

アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が減っていく病気です。認知症の原因では最も多いと言われています。

主な症状

新しいことが覚えにくい。時間や場所がわからない。不安でうつうつとしている。

脳血管性認知症

脳梗塞・脳出血などにより、脳の神経細胞が一部分死んでしまう病気です。

主な症状

感情の起伏が激しい。意欲や注意力が低下し、複雑な作業が苦手。麻痺や失語が起こることがある。

レビー小体型認知症

脳の中にレビー小体という異常なたんぱく質がたまる病気と考えられています。

主な症状

手足のふるえやこわばり、動作がぎこちない。歩きにくい。幻視（実際にはないものが見える）を見る。

前頭側頭型認知症

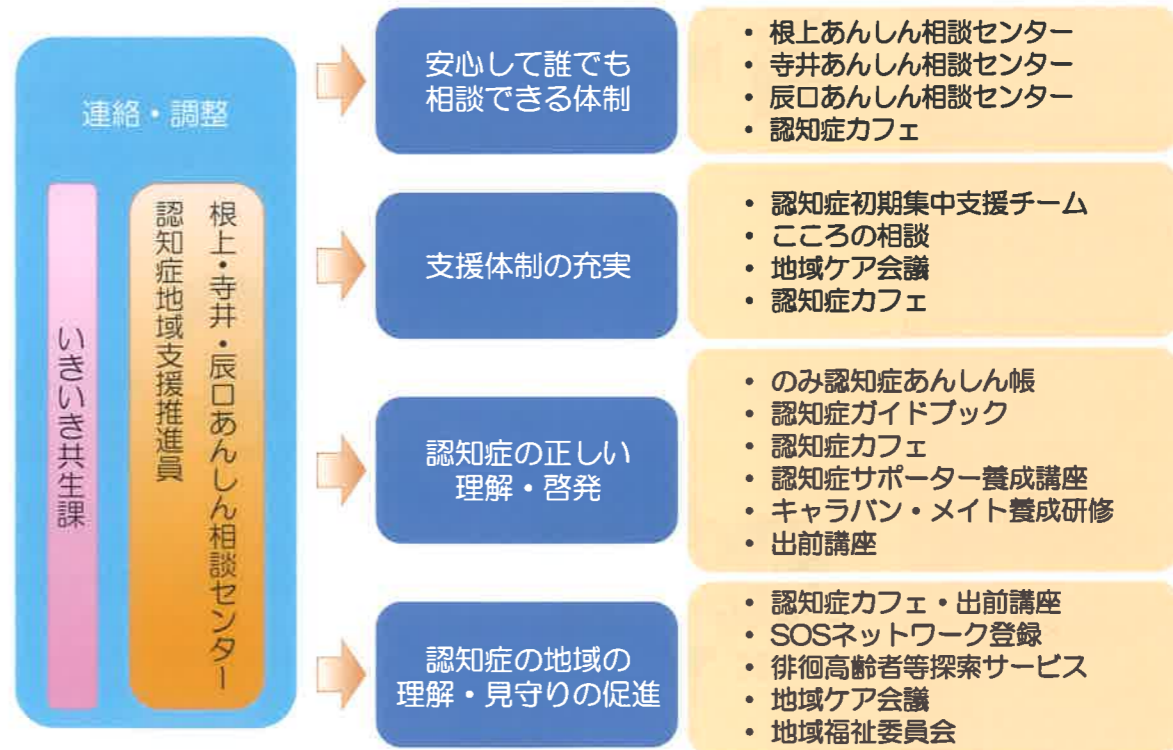
主に脳の前頭葉と側頭葉という部分が縮んでいく病気です。原因はよくわかっていません。

主な症状

他者やその場の状況、決まりに合わせられず、思ったまま勝手に行動する。毎日同じ行動を繰り返す。

能美市の認知症支援の体制

～認知症になっても安心して暮らせるまち・のみ～



能美市では、根上・寺井・辰口あんしん相談センター、いきいき共生課とともに、介護サービス事業所、キャラバン・メイト、地域の関係団体が協力して「安心して誰でも相談できる体制」・「支援体制の充実」・「認知症の正しい理解・啓発」・「認知症の地域の理解・見守りの促進」に取り組み、「認知症になっても安心して暮らせるまち・のみ」づくりを進めています。